

令和5年5月

町長日誌

町内では概ね田植えが終わり、山々の木の新緑も美しい季節となりました。新型コロナウイルス感染症は感染症法上の位置づけが2類相当から5類へと移行し、集会や会議、懇親会などの開催にも制限がなくなりつつあります。マスク着用も個人の任意となり、対面での会合が増えてきましたが、コロナ禍により盛んになったオンラインでの会合も引き続き行われています。会合の参加方法に選択肢が増え、今後はより参加しやすくなるのではないかと思います。

さて、日南町では、現在「がん検診」受診の啓発を行っています。日南町のがん検診は無料で実施していますので、多くの方に受けていただきたいと願っています。近年はコロナ禍でなかなか受診率が上がらない状況が続いていましたが、今年は啓発強化に努め、受診率向上を目指しています。

個人差はあるものの、身体は年齢とともに衰えていきます。長寿社会の中で、より健康寿命を延ばし、高齢者世代の質を高めていくことが重要です。そのためにも、検診・健診はとても大切です。医療技術や機器、薬等の質は年々向上してきているので、検診を受けて早期発見・早期治療ができれば、がんは治る病気だと思っています。「定期的に病院で診てもらっているから大丈夫」とお思いの方も多いと思いますが、身体の状態はいつ変化するかわかりません。また、健診受診後に精密検査の案内を受けながら、その機会を伸ばしている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。「日々の生活が忙しくてなかなかいけない」という声も聞きますが、ご自分のため、大切な家族のために、身体のことを最優先で考えていただきたいと思います。

会社にお勤めの方のがん検診受診率は高まっていますが、今後はがん検診の受診を会社の福利厚生の一環として位置付けていただくよう働きかけていきたいと考えています。定年が延長される社会背景の中で、従業員の健康づくりは会社の利益にもなり、安定的な人材確保にもつながります。また、若いうちから検診を受けることで、受診への不安解消につながればと思います。

家族で、会社全員で、がん検診を受けましょう。そして、自分の身体のことを知りましょう。

令和5年5月29日 日南町長 中村英明